

みんなの “あつけし”



記念式典の際に放映された記念映像(約20分)は、厚岸町のホームページで見ることができます。(厚岸町公式YouTubeチャンネルをご覧ください)

厚岸町公式YouTubeチャンネル QRコード



および経済対策は勿論のこと、『みんなのあつけし、新時代の創造に向かって』、無限の可能性を秘める厚岸の様々な特性や強みを最大限に活かし、活力ある水産業や酪農業をはじめ、新たな関係人口による観光産業の強化、安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備、不測の災害に備えた防災・減災対策などの施策を、さらに積極的に推進し、先人達の弛まぬ努力と郷土愛により守られてきたこの町の財産を将来の世代につなげていくとともに、人と人をつなぎ、互いを高め合いながら、『もっと豊かな、もっと元気な、あつけし』を築き、町の未来を切り拓いていく決意を新たにしたいところであります」と述べました。

来賓を代表して、山口修司釧路総合振興局長、伊東良孝衆議院議員、鈴木貴子衆議院議員、鈴木宗男参議院議員、釧路町村会会長の棚野孝夫白糠町長の祝辞のあと、掘守厚岸町議会議長からは「厚岸町町制施行120周年記念の式典が挙行されるにあたり、町議会を代表して、一言

お祝いの言葉を申し上げます。我が町が発展したのは、ひとえに先人たちの不屈の開拓精神と血のじむような努力、さらには、町民皆さまのご尽力と郷土愛の賜物と、衷心より感謝と敬意を表する次第であります。町議会といたしましても、町政発展のため町民の皆さまとの連携を一層密にし、さらに努力してまいる所存です」との祝辞をいただきました。

その後、厚岸町120年の歩みを記録した記念映像が放映され、式典の最後に『こども未来宣言』が行われました。小学校代表の厚岸小学校6年成澤楓香さん、中学校代表の真龍中学校3年桑田琉煌さん、高等学校代表の厚岸翔洋高等学校2年横井吟さんがそれぞれ、「おじいちゃん・おばあちゃん、そしてお父さん、お母さんたちが守り育てて来た厚岸町が、120歳の誕生日を迎えました。私たちは、自然豊かで海産物や牛乳がおいしいこの厚岸町で、毎日、みんなで楽しく勉強したり、遊んだりしています。これからもみんなで力を合わせ、この町の伝統

や文化を受け継ぎ、未来に向かって大きく成長していきます」私たちの中学校は昭和22年5月28日、4学級163名で開校し、今年で73周年を迎えました。多くの先輩達が築いてくれた伝統を守りながら、私達は中学生生活をはつらつと過ごし、勉強にも、部活動にも高い目標を持って全力で取り組んでいきます。これまで以上に多くの人が訪れ、愛される厚岸町であるとともに、町民の人たちが、温かく生き生きと生活できる厚岸町を支える力となるよう努力する私たちを期待して見守ってください」厚岸町が誕生して120年。私たちの通う厚岸翔洋高校は開校して12年目を迎えています。先輩たちが残してくれた歴史を心の中にしっかりと刻み込んで、学びつづけています。私たちは間もなく社会に旅立ちます。学校で学んだ事を生涯の支えにして、1人1人が地域に貢献できる人となるよう、これからも自らを磨いていきます」と宣言を読み上げ、会場から大きな拍手が送られました。



厚岸町町制施行120周年記念式典

厚岸町が明治33年7月1日に町制を施行し、新たな行政組織として歩み始めてから120周年の節目を記念する『厚岸町町制施行120周年記念式典』が10月2日、社会福祉センターで来賓や関係者123人が集まり執り行われました。

当初、7月2日に式典を挙げる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典は延期されていました。120周年記念式典の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染予防対策を行い実施しました。

国歌演奏の後、町民を代表して厚岸町女性団体連絡協議会会長の柿崎多佳子さんが町民憲章を朗読し、その後、出席者全員で120年の歩みを回顧し、先人に対する景仰感謝の黙とうを捧げました。

若狭靖厚岸町長の式辞では「厚岸町が明治33年7月1日に町制を施行して以来、恵まれた自然環境の下、基幹産業である漁業・酪農業をはじめ、豊富で多彩な資源を最大限に活かし、人々の生活基盤を着実に築き、歴史ある文化を育みながら、今日の厚岸町らしさを感じるまでに発展を遂げ、120年の節目となる年を迎えたところであります。私は、喫緊の課題である新型コロナウイルスによる感染症



こども未来宣言



先人に対する景仰感謝の黙とう



町民憲章朗読